

事業番号	11 05 04	事業改善シート（令和3年度実施事業分） ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	流域治水対策に関する事業	部局	建設部	課・室	河川課
		実施期間	M14 ~	E-mail	kasen@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	4-1 県土の強靱化				

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 令和元年東日本台風により大きな被害を受けた長野県としては、被害軽減のため、流域対策として雨水貯留施設の整備拡充を図る。	
	【これまでの取組】 令和2年6月、国土交通省は、昨今の頻発する洪水被害を受け、「治水」の方針を「流域治水」へ転換し、全水系において「流域治水プロジェクト」を策定、「流域治水」の取組を推進することとした。このことから、長野県としても県内全域で取組を推進することとし、雨水貯留施設整備を推進する。	
令和2年度点検結果 ・ 現状分析	課 題	今後の方向性
	「流域における取組」は、市町村や民間事業者、県民が一体となり、協働して取り組む必要があるが、「流域治水」の意識が浸透しておらず、取り組みが不十分な状況。	県が率先して取り組みを行い、情報を発信することにより、市町村や県民の取組を促す。

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・ 主な取組(予定)	✓地下貯留施設の設置 流域に降った雨を直接河川に流すのではなく、一旦「貯留」することにより河川の負担を軽減させる「雨水貯留施設の設置推進」として、地下貯留施設を試行的に設置する。	
	✓雨水貯留タンクの設置 流域に降った雨を直接河川に流すのではなく、県有施設の屋根等の降った雨を貯留するため、雨樋下に雨水を貯留するタンク等を設置する。	
	✓流域治水事業に係る普及啓発 流域治水の取り組みを普及するため、啓発番組等の作成、シンポジウム等を行う。	地下貯留施設(学校グラウンドを使った施設設置例)
	✓住民への情報提供 中小河川における浸水想定区域図の作成・公表	雨水貯留タンクの設置例

指標の状況及び目標値 [△:改善、▽:悪化、→:変化なし]					事業 コスト	区分(単位:千円)				
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)		R3年度目標値	R1年度	R2年度	R3年度	
1	雨水タンクの設置	-	-	-	100箇所	予算額	前年度繰越	0	345,705	要求 518,840 予算案 -
2	中小河川における浸水想定区域図の作成	-	-	95河川	→ 186河川		当初予算	418,200	825,845	
3							補正予算	31,246	0	要求 518,840 予算案 -
4							合計(A)	449,446	1,171,550	
5							うち一般財源	37,985	408,993	要求 397,980 予算案 -
						決算額(B)	103,741			
						職員数(人)	0.6	0.6	0.6	
成果指標 設定理由	流域治水の取り組みに加え、地域住民へのリスク周知の指標として設定した。									

事業名	流域治水対策に関する事業	部局	建設部	課・室	河川課
-----	--------------	----	-----	-----	-----

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
1	水防管理事業	418,200 千円	825,845 千円	要求 518,840 予算案 — 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	地下貯留施設設置事業	直接	県有施設において、各施設の改修等に合わせ設置することで、「流域治水」の取組を進める。
2	雨水貯留タンク設置事業	直接	流域に降った雨を直接河川に流すのではなく、一旦「貯留」することにより河川の負担を軽減させる「雨水貯留施設の設置推進」として、雨水貯留タンクを設置する。(100箇所)
3	流域治水事業に係る普及啓発事業	委託	流域治水の取組を促すため、啓発番組等の作成、シンポジウム等を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・「雨水貯留の取組」を促す番組、CM等の作成 ・アルクマの雨水貯留促進バージョンを作成、啓発用シールとして雨水貯留タンクへ掲出 ・住民や自治会を対象に流域治水の事例や取組を紹介するため、梅雨や台風シーズンを前にシンポジウムを開催等
4	中小河川の浸水想定区域図作成事業	委託	きめ細やかな情報提供のため、中小河川においても浸水想定区域図を作成し、公開する。(71河川)